No. 114
令和５年８月

當道

題字 故菊原 初子

（発行所）
公益社団法人　当道音楽会
〒五四二-〇〇六二
大阪市中央区上本町西四丁目一―十七
電話 〇六（六七六八）一九一三
https://todo-ongakukai.jp/

「ご挨拶」

理事長　中村 孝義

酷暑が続く毎日でございますが、皆さんお変わりなくご活躍のこととと存じます。私はこの六月の総会において、四年の任期満了をもって辞任する予定でした。それゆえこの会報の挨拶は、新理事長が執筆されることになっておりました。しかし残念なことに候補者が絞り切れず、前の総会では新理事長が選任されないという不測の事態がおこりましたため、会則に基づき新理事長が選ばれるまでの間、理事長を担っております。そのためこのご挨拶も、今後二年間にわたる理事長の抱負や方針を述べるものではなく、むしろ四年の任期を振り返って、当道音楽会が今後どのような道を歩んでいくべきかと思うことを、自由に述べさせていただくことになることをご容赦頂きたいと思います。

四年のうちの三年間は、我々、というよりも世界中の人々が想像も、また経験したことも無いコロナ禍という災難の中での会の運営でありました。そのため、なかなか事が思うように運ばず、またコロナ禍によって演奏会やお稽古が思うように実施できないことや、高齢者にとって極めて厳しい環境ということもあり、退会者がいつにも増して増加し、それに伴い財政状況も悪化するという、会にとってはあまり芳しくない状況が続きました。これを克服するため全力を挙げてきましたが、会員全員がこの事態に真摯に目を向け、会の在り方の改革や見直しも含めて真剣に運営に取り組んでいくことが急務であると思います。人間は二人以上集まれば、考えが一つにまとまるのは容易ではありませんが、互いの意見を尊重しつつも、会の将来の隆盛を目指して、是非とも一つの方向に向かって気持ちを一つにしていただきたいと思います。

幸いにもこの五月に行われました第一四〇回定期演奏会は、皆様の心を一つにしたご尽力によって大成功を果たしましたが、これを会が蘇生する絶好の機会と捉え、コロナ禍が明けた今、再び当道音楽会に隆盛がもたらされますよう、皆さんのご努力を心よりお祈りしております。理事長を退任しました後も、当道音楽会の発展を祈りながら、見守っていきたいと思っております。任期中における皆様のご協力を心より感謝しております。有難うございました。

理事長「ご挨拶」……1
第 61 回定時総会開催……2
支部長会・参与会……3
新理事・新参与の紹介……4
令和５年度・令和６年度職務分担表……4
古典曲講習会・支部だより・支部長一覧…5
第 140 回定期演奏会……6～9
邦楽普及事業
「さくらさくら」に出演して……7
令和4年7月～令和5年4月
選考合格者一覧……9
当道音楽会ホームページ<QR コード>……9
令和５年度上期職格試験問題・解答……10
令和５年度（2023 年）事業計画……11
本部予告……12
演奏会だより……12
事務局だより……12
訃報・編集後記……12

本部予告

◆**講習会** <1ヶ月前よりFAXにて受付。FAX（06）6764-6818　※FAXをお持ちでない方は郵送ください。>

受験の為の楽理講習会
講　師：熊澤 辰巳
日　時：令和5年11月5日(日)
　　11:30～
場　所：本部２階

古典曲講習会
講　師：菊原 光治
日　時：令和6年2月4日(日)
　　13:00～
場　所：本部２階

組歌講習会
講　師：菊多嘉 弘子
講習曲：「雪月花」「春の宮」
日　時：令和5年11月19日(日)
　　13:00～
場　所：本部２階

◆**演奏会**

第141回 定期演奏会
日　時：令和6年5月6日(振休・月)
場　所：国立文楽劇場
■子供曲の参加者募集（詳細は後日）

事務局だより

<年会費のお振込みのご案内>

正会員・準会員　5,000円

- 所定の振込用紙にて、ゆうちょ銀行よりお振込みください。
- 納入される年度を通信欄にお書き添えください。
- 師匠、支部長がまとめて納入される場合は、納入される各個人名を明記してください。
- 会費の振込用紙がない方は事務局までご連絡ください。

<各種お振込みのご案内>

三菱UFJ銀行　上本町支店　普通　4523177
シャ）トウドウオンガクカイ

ゆうちょ銀行　店番418　普通　27287531
シャ）トウドウオンガクカイ
（都市銀行からゆうちょ銀行への振込の際は末尾１は不要です。）

- 講習会や試験、免状、書籍購入等、全てのお支払いについては、金融機関への振込のみです。現金書留、現金での直接のお支払いは受け付けておりません。
- 振込および会員様のご都合による返金に伴う手数料は、会員様のご負担にてお願い致します。

<ご住所変更について>

会報、総会のお知らせなどが転居先不明で返送されることがございます。お名前、ご住所の変更の際にはお早めにお知らせください。

<本部事務局 受付日時>
水曜日～日曜日
10:00 ～ 17:00
（月・火・祝日 休み）
夏期・冬期及び総会を含む事業等の都合により変更となる場合もあります。

訃報

亀山 幸子　逝去　令和四年十月　享年　八十八才

菊路 秀子【愛知支部】　逝去　令和五年二月　享年　七十九才

慎んで心よりご冥福をお祈り申し上げます

編集後記

今春 実施しましたアンケートに沢山のご回答をお寄せいただき有難うございました。会報紙を手元に残して何度も読み返しているとの有難いお言葉も頂戴しました。これからも読みやすい紙面、興味深い内容を目指して頑張ります。どうぞご愛読下さい。　(Y.K)

演奏会だより

第19回 和のしらべ
日　時：令和5年8月27日(日)
　　13:30開場 ／ 14:00開演
場　所：玉水記念館 3階中ホール
主　催：菊信木 恵美、菊信木 洋子

三十三会演奏会
日　時：令和5年9月23日(祝・土)
　　14:00開演
場　所：山本能楽堂
主　催：菊聖 公一、菊重 精峰、菊央 雄司

琴梢会 第7回昇格披露演奏会
日　時：令和5年10月8日(日)
　　13:00開演
場　所：松山市民会館小ホール
主　催：菊紫江 こずえ（松山支部）

第14回 峰の会 地歌箏曲演奏会
日　時：令和5年10月29日(日)
　　13:00開演
場　所：新大阪ココプラザ2階
主　催：菊重 精峰

第1回 胡弓研究会 演奏会
日　時：令和5年11月23日(祝・木)
　　開演時間未定
場　所：玉水記念館 3階中ホール
主　催：菊信木 恵美

第2回 菊聖 公一 地歌演奏会
日　時：令和5年12月24日(日)
　　13:30開演
場　所：奈良公園バスターミナル
　　レクチャーホール
主　催：菊聖 公一

第六十一回 定時総会開催

令和五年六月二十一日(水)十四時より、第六十一回定時総会が大阪国際交流センターにて開催された。

総会出席者一一〇五名(委任状、議決権行使を含む)中村孝義理事長を議長とし、第一号議案から第四号議案、報告事項が丁寧に審議され、議案はすべて原案通り承認可決された。議題審議結果は次の通りである。

■第一号議案

第六十回(令和四年四月一日から令和五年三月三十一日まで)事業報告及び計算書類等の承認の件

事業報告について菊重精峰副理事長より説明があった。当期特筆すべき事業として、七支部において支部講習会を開催して無事完了したことが報告された。

続いて計算書類について天野洋介税理士より説明があった。

会員情報のデータ化が進み、会費納入状況の把握が正確に出来るようになったと説明があった。長尾博史監事、天野洋介監事により監査が行われ正確性をもって監査を終了した旨報告がなされた。

■第二号議案

第六十一回(令和五年四月一日から令和六年三月三十一日まで)事業計画書及び収支予算等の承認の件

事業計画案について菊重精峰副理事長より説明があった。

続いて収支予算案、資金調達及び設備投資の見込みについて天野洋介税理士より説明があった。

■第三号議案

新役員承認の件

本年四月五日に開催された役員選考委員会及び五月十日開催の理事会の議を経て選任された新理事、新参与が承認された。

尚、役員選考委員会で新理事長の選定がなされなかったので、今暫く中村孝義氏に理事長を続けて頂く事も承認された。

■第四号議案

理事長報酬額決定の件

中村理事長より定款に基づき従来通りと説明があった。

■報告事項

庶務部長より邦楽普及事業和音塾の新しい紹介リーフレットの完成が報告された。

業務部長より第一四〇回定期演奏会の無事終了が報告された。

広報部長より会報紙発行に向けての現況が報告された。

◎**中村理事長より**

支部間、あるいは支部と本部の間の様々な意味での交流は、今後当会にとって最も重要な課題の一つである。支部や支部会員が、他支部や本部から講師をお招きし、講座を持つことは大いに結構なことである。ただ講師を招聘した会員や招聘された講師は、無用な摩擦を起こさないためにも、支部長や支部の関係者にぜひとも一言ご挨拶をお願いしたいとの要請があった。

以上をもって議事や報告が終了したので議長は総会を閉会する旨、宣した。

尚、五月十日に理事会が開催され同内容について審議され了承された。

ご報告

■令和五年六月二十一日の第六十一回総会終了をもって、任期満了された左記の理事先生方が退任されました。

- 菊　領　令　華
- 菊　一　辰　巳
- 菊　庭　頼　子
- 中扇喜　琇　風
- 菊和本　和　代
- 菊音斎　幸　恵
- 菊光弥　敬　子
- 菊田津　輝美子
- 菊　久　さかゑ

各先生方へ深く感謝申し上げます。

支部長会

■日　時
令和五年六月二十一日十一時より

■場　所
大阪国際交流センター

■出席者
支部長＝八田忠恵(金沢)、菊一典子(愛知)、菊那加康子(岡山)、川倉美波瑠(富山)、菊大路志野(岐阜)、菊瑩千代美(鳥取)、岡田千佳栄(香川)、菊紫江こずえ(松山)、菊加翠かず子(高知)、菊芙路洋子(大分)、菊鈴典美(八戸)、中村孝義理事長、各常務理事三名。

■質疑応答

〈支部長からの質問・提案〉

- 正規の事務員を早急に確保してほしい。
- 貸借対照表だけでは実際に使える金額がどれくらいなのか分かりづらい。財政難であることが会員一人一人に伝わるような発信をしてほしい。
- 個々の事業についての収支報告がほしい。
- 経費削減として受験者の少ない地方選考日は延期してはどうか。
- 支部からの提案をどう検討されているか分からない。
- 経費見直し委員会を作ってはどうか。
- 会員増目的の普及事業部を作ってはどうか。
- 役員候補者選考の経緯を説明してほしい。

〈理事長並びに常務理事からの返答〉

- 事務員は現在も常に探している。
- 財務状況については、天野税理士にお手伝いいただき財務部が分かりやすく発信してもよいと思う。
- 選考における無駄については同意できるが、試験委員の同意が必要、総会で提案してほしい。
- 提案事項は全て目を通しているが全て実現するわけではない。また、決定するにも数々の会議を経るので時間がかかる。提案事項は庶務がまとめるので事務局に提出願いたい。
- 普及事業部の新設はしていないが、庶務で取り組んでいることは発信している。
- 役員は推薦された者の中から選考委員の投票により決定している。
- 会の在り方など、根本的に考え直さないといけない時期にきている。会員一人一人が改革の意識を持たなければならない。ぜひ総会などで積極的に意見を出していただきたい。

参与会

■日　時
令和五年六月二十一日十時より

■場　所
大阪国際交流センター

■出席者
菊和伊寛子、菊井寿令世、菊清聡子、中都喜久仁子、菊秀桂美鈴、菊賀若葉、菊抄峰亜希、菊和希晶子、菊水順子、中村孝義理事長、各常務理事三名。

◇菊井寿令世参与を議長として選出

◇出席の各参与より自己紹介

■質疑応答

- 支部では、お免状を取りたくない演奏会も出たくないという、スポーツジム感覚で習いたい方が多く、若い方々の考えは我々のかつての意識と違う。そのことを先生が容認しているので、現状では先生の立場の方が弱いのではないかと思う。又、会員数が減っていることも問題視している。
- 理事や参与について、理事は会議に出席することが多いが、参与は各部会に所属して実働する方がよいので在阪の方にお願いするのが良いと考える。会議などは、オンラインを使って交通費等が発生しないように進めていけばよい。
- 支部の在り方に問題があるのではないか、本部直属の方が支部に住むのであれば支部の活動に参加できるようにして支部本部の壁をなくして活動すれば良いと考える。そこに、師弟の感覚を持ち出すと所属の問題が出てくるので、切り離して考えればよいのではないか。当道の所属にこだわらずに、転勤などでその地域にいる方を同じ当道の人と見なして仲良く活動すれば垣根が無くなり、支部だからという発想もなくなると考える。
- 免状形態も、現在に合うものに変えて行って良いのではないか。

〈理事長より〉

- 時代は大きく変化しており、若い方々と考えが必ずしも合わない、教える側の意識も変わらないといけないのではないか。しかし、現実を否定的にとらえずに、これまで培ってきた当道音楽会の素晴らしい芸を伝えていかなければならない。
- 会議に関しては、本部に参加者が集合する会議とインターネットを活用したオンライン会議とを融合したハイブリッド会議、またコミュニケーションの手段としてSNSの活用を進めることによって、支部の先生方にも多数参加して頂くことが可能になる。
- 部長の下で実際に仕事をして下さる方には在阪者の先生方に就任していただくのは、良いと思う。しかし、その様な考えが中々当道の中に浸透しないのも現実なので、どんどん声を上げて頂く事が大事である。
- 組織全体の刷新をして行こうと考える今、本日の参与会で出た様々なご意見は大変貴重である。今後も皆さんで意見を出して行って頂きたい。
- 参与の在り方として、師弟の上下関係ではなく何が良いか、何をしたら良くなるかで動けるようになって頂きたい。

〈副理事長より〉

- 免状のことに関しては、公社になった時に価格を公表したことで、基本価格に設定している方もそうでない方もいるが、それでよいのではないかと思う。

新理事・新参与の紹介

菊寺 智子 理事

菊萌 文子 理事

菊和伊 寛子 理事

菊清 聡子 理事

菊抄峰 亜希 理事

菊水 順子 理事

菊加翠 かず子 理事

菊楚代 雅子 理事

菊楚野 直子 参与

菊蓮 智子 参与

令和5年度・令和6年度 職務分担表

〔理事長〕 中村孝義
〔副理事長〕 菊重精峰 ／ 菊聖公一

〈財務委員〉

〔財務部長〕 菊田二美歌
〔財務副部長〕 町田令芳
〔財務理事〕 竹原夕起子
〔財務理事〕 菊加翠かず子
〔財務参与〕 菊賀若葉
〔財務参与〕 菊智多美
〔財務参与〕 中都喜久仁子

〈業務委員〉

〔業務部長〕 中照紫華
〔業務副部長〕 菊佳裕純子
〔業務副部長〕 菊幸乃啓子
〔業務理事〕 菊佳恵良子
〔業務理事〕 菊ふじ明歌
〔業務理事〕 菊和伊寛子
〔業務参与〕 菊秀桂美鈴
〔業務参与〕 菊和希晶子

〈庶務委員〉

〔庶務理事〕 髙畠整子
〔庶務理事〕 菊大路志野
〔庶務理事〕 菊那加康子
〔庶務理事〕 菊寺智子
〔庶務理事〕 菊萌文子
〔庶務参与〕 菊笠穂見奈
〔庶務参与〕 菊扇美恵子
〔庶務参与〕 菊井寿令世
〔庶務参与〕 菊友香弥生

〈広報委員〉

〔広報部長〕 菊野津幸代
〔広報副部長〕 菊水順子
〔広報理事〕 菊抄峰亜希
〔広報理事〕 菊清聡子
〔広報理事〕 菊楚代雅子
〔広報参与〕 菊信木洋子
〔広報参与〕 菊楚野直子
〔広報参与〕 菊蓮智子

古典曲講習会
「出口の柳」

令和五年二月五日、菊原光治先生ご指導による「出口の柳」講習会を受講致しました。私は若い頃京都當道会に所属し、そこでこの曲を習ったことがありました。故・萩原正吟先生のお稽古場に通っていた田舎者の私には、綺麗な芸子さん達が大勢通われる先生のお稽古場は粋な処であり、習った「出口の柳」はその稽古場の京都ならではの雰囲気を象徴する印象深い曲でした。

年月を経て、今回教えて頂いたこの曲は琴治先生編の箏の手付も習うことが出来て、京都島原の華やかさをより感じさせ、一層好きな曲目になりました。改めて歌詞や曲の解説を勉強し、節に歌祭文(うたざいもん)を取り入れて、何ともメロディアスな曲になっていることなどを知りました。この何ともメロディアスな曲節が、歌舞伎の囃子方であった杵屋長五郎の作曲にして、地唄の曲目としても広まり伝えられた所以の気がします(私の勝手な解釈ですが)。

菊原先生の講習を通じて、伝承された初子先生の弾き方を思い、習うことの大切さを痛感致します。教える立場としては、勉強したことを生かして大切に伝えたいと思います。

菊知 恵美子 社中
佐藤 好見

支部だより

今年は全国十七支部の内、四支部にて支部長交代がありました。これからの当道音楽会の各支部を牽引して下さる方々の船出の一言です。

■今まで前支部長に支部の運営を全面的に頼り切っておりましたので、大変なことになったと戸惑い困惑しております。八戸も高齢化に加えこの度のコロナ禍で稽古をお休みする方も多く会員数はますます減少しておりますが、故蒔田功美先生より何十年も続いてきた伝統ある八戸支部の継続、発展のため専心努力致します。

八戸支部　菊鈴(きくすず)典美

■岐阜は六社中、三十六名から成り立つ支部です。

来年には国民文化祭事業「邦楽三曲演奏会」も予定されており、皆熱心に練習に取り組んでおります。『箏・三絃をこよなく愛する人の集まりの岐阜支部』を和やかな会にすることを目標としており、若い世代に邦楽を引き継ぐ橋渡し役になれればと思っています。

岐阜支部　菊紘(きくひろ)みすゞ

■昨年、今年と立て続けに師匠、親師匠がみまかられ急遽この様なことになりました。出身は香川県ですがご縁を頂き、松江に二十数年、この地に骨を埋めるつもりではいましたが、まさかこのようなことになるとは…それでも島根邦楽会活性化の一助になるならばとの思いで、何とも心許ない船出ですが精一杯務めさせていただきます。

松江支部　菊和藤(きくわふじ)伊都子

■松山支部は個々の活動が多数ですが、全体としては愛媛県三曲協会を母体とする活動が主です。五年前の三曲協会講習会に菊原光治先生、松山支部総会には本部の先生方をお招きして勉強会をしています。昨年十一月には菊聖公一先生をお招きし、宇和島支部、他派の先生も参加の講習会も開催しました。毎年四月、六月、十一月と定例の各演奏会にも出演しています。

松山支部　菊紫江(きくしえ)こずえ

以上、新支部長の皆様のご紹介でした。

支部長会代表　菊那加 康子

支部長一覧

◆八戸支部	菊鈴典美
◆金沢支部	八田忠恵
◆富山支部	川倉美波瑠
◆長野支部	長谷部ちず子
◆愛知支部	菊一典子
◆岐阜支部	菊紘みすゞ
◆岡山支部	菊那加康子
◆岡山北支部	菊畑和江
◆豊田支部	大成令信
◆鳥取支部	菊瑩千代美
◆松江支部	菊和藤伊都子
◆松山支部	菊紫江こずえ
◆大洲支部	菊安寿鶴松
◆宇和島支部	内舛史知絵
◆香川支部	菊光紀照子
◆高知支部	菊加翠かず子
◆大分支部	菊芙路洋子

二〇二三年六月二十一日 現在

第一四〇回 定期演奏会

「八千代獅子」定期演奏会に出演して

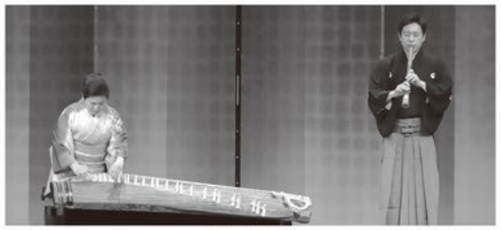
この度は、記念となる第一四〇回定期演奏会に出演させていただきありがとうございました。

上方舞・山村流六世宗家の山村友五郎先生ご一門の地歌舞の地方として「八千代獅子」の三絃で参加させていただきました。地歌舞の地方としてステージに立てることなど滅多にない機会でしたので、募集要項を確認してすぐに応募したい旨を師匠に伝えました。普段は地方（じかた）で活動していることもあり、大人数での舞台であること、また、初めて本格的な地歌舞の地方として演奏させていただくことに、緊張と心躍る高揚感でいっぱいでした。初回の合奏練習では担当の菊聖先生と細かい"間"のタイミングを合わせることに集中していました。その後二回は周囲の音を感じながら演奏できることを楽しんでいました。当日のリハーサルで初めて舞い方の方々とご一緒させていただき、想像以上に舞を見ることができないことに少し驚きました。私は菊聖先生に合わせていくことと、堂々と演奏しようということに集中しておりました。演奏を聴きに来てくれた友人から、かわいらしい獅子たちの舞と演奏が相まっていて、とてもよかったとの感想をいただきました。ぜひ今後も地歌舞の地方として演奏できる機会を持てるよう、自ら舞に息を合わせて演奏できるように精進したいと思う演奏会となりました。普段とは違う環境での合奏練習や本番はとても楽しかったです。また皆様と一緒に演奏させていただきたいです。

大分支部　菊水 詩生

「笹の露」

「尾上の松」


「時 –とき–」

「八千代獅子」

邦楽普及事業「さくらさくら」に出演して

色んな人の前でウインドチャイムを鳴らすことができて楽しかった。

大西 煌希（小一）

この半年で、たくさん練習したからじょうずにひけたし、全力で楽しめたのでよかったです。

大西 真緒（小四）

舞台裏に向かう時に出演する方、演奏し終わった方たちに「がんばってくださいね。」など言ってもらえ、本番が近づいているのを実感してきんちょうしました。舞台裏で、先生方が「えがおで楽しく演奏してくださいね。」と言葉をかけてくれてとてもきんちょうがやわらぎました。

舞台にいざすわると、すごくきんちょうしてきて心ぞうがバクバクしました。始まって、幕が上がると同時に、お客さんのはく手がたくさん聞こえてきて顔が赤くなりました。

演奏を終えて、舞台を出るとまた出演する方たちなどに、「おつかれさまでした。」とかはく手をしてくれたりして本当にすてきな演奏会に出させていただけた、きちょうな体験だったとあらためて感じました。

武生 蘭（小四）

本番に出る前たくさんの人がいて、とてもきんちょうしました。

練習をいっぱいして、本番の時にれいせいになって成こうしたのでうれしかったです。

初めての大きなぶ台で、伝とう的な音も、色々な楽器の音を聴けてすごかったです。えんそうではライトがまぶしかったです。顔が赤くなってきんちょうしました。

たくさんの先生が色々なことを教えてくれて、ありがとうございました。すてきな体けんができてうれしかったです。

宮里 香凜（小四）

五月二十八日(日)に第百四十回のお箏の演奏会がありました。

私はこの演奏会で「さくらさくら」をひきました。

この曲は昨年の十一月から練習を始めたのですが、全体の合わせが三回しかなかったので、本番はうまくひけるか私は不安でした。

「さくらさくら」

演奏会当日もリハーサルがなかったので、不安ときんちょうでいっぱいでしたが、約半年間一生けん命練習をがんばったので、力が出しきれる様にひきました。

きんちょうしたけれど、自分の力を出しきれ、みんなとの合わせた演奏も大成功でうれしかったです。

とても良い経験になりました。また演奏会に出たいと思います。

植村 小夏（小五）

半年練習を頑張ってやっとみんなで舞台上で弾くことができて、とても嬉しかったです。この半年間、妹、弟と頑張って練習してよかったと思った。舞台上で弾いて少し失敗もしたけど、みんなであわせて上手く弾くことができ成功したのでよかったです。

大西 結羽（小六）

今日はお箏の発表会でした。

大きな舞台に立った時はきんちょうしたけど少しずつ、落ち着いてきました。

練習のときよりもミスが少なくてよかったです。ですがきんちょうで音の強弱がつけられていたか、わからなくなってあせりました。

周りの人はとても上手だったし、十七絃の音は二人以上で弾いているかと思うほど、力強かったです。

演奏後、お箏の先生にほめてもらえてうれしかったです。ありがとうございました。

兼田 理早（小六）

私は、国立文楽劇場のような大きな劇場や舞台で、箏の発表をしたことがないので二十八日を、楽しみにしていました。知らない子もたくさんいたけれど、発表会当日演奏が終わった後、家族や先生などにほめられてとてもうれしかったです。友達も、来てくれていたのでうれしかったです。

これからも、箏をがんばりたいと思いました。ありがとうございました。

松宮 朱利（小六）

初めてのおことの演奏会で、とても緊張したけど、うまくひけたので、良かったです。

次の演奏会でも、しっかりと上手にひけるようにがんばりたいです。

福西 美弥妃（小六）

今回の演奏会の舞台は、とても大きく立派だったので緊張しました。
練習では、最後まで揃う事が出来ず不安でしたが、本番ではバッチリでした。僕自身は、強弱に気を付けて演奏が出来、今までで一番最高の出来栄えでした。
十一月から五月にかけて長い間ご指導して下さりありがとうございました。
伊藤 流星（中一）

僕は、発表会を終えてホッとしました。僕の合図で曲が始まると言う大役を頂いて、すごく緊張しました。みんな、僕の合図を見てくれるかな、曲の頭出しバラバラにならないかなっと言う不安な気持ちで一杯でしたが、上手に揃っていたので嬉しく思いました。今回、国立文楽劇場という名の大きな会場の舞台に出させて頂いて、みんなと息を合わせると素晴らしい曲が弾けると共に、素敵な物が出来るという喜びとか大切さなど、沢山の事を学びました。これを機に、これからもいろいろチャレンジして行きたいと思いました。
最後に先生方、一緒に弾いてくれたお友達、本当に有り難うございました。
棚村 友飛（中一）

思っていた以上に会場が広く、人数が多くておどろいた。
楽屋に初めて入って、ワクワクした。あんなに大きな会場で演奏することなんてほとんどないからいい思い出になった。
少し緊張したけれどミスなしで弾き終えられたから安心した。
大人の演奏を聴いて、こんなにすごいんだなと思った。
日野 有人（中一）

私は最初、パートAを担当していて途中からパートBに変わったので練習の期間が短く少し心配でしたが、本番自体はあまり緊張していませんでした。
本番直前は少しドキドキしていましたが、いざ弾いてみると楽しくて夢中でした。だから演奏が終わるのは早かったです。
これからも、箏を続けたいと思います。
大竹 萌々香（中二）

十二月、初めて行った時は、初めての場所で初めて会う人と初めてづくしでとっても緊張しました。二回目から、少しリラックスして、みんなとの練習に集中できました。独奏の弾き方をていねいに教えてもらって、とっても勉強になりました。
本番では、みんなが一致団結して、一番きれいに弾けて、とても満足しました。
普段、大人の方と弾くことが多いですが、同じ年齢の仲間と練習したことは、すごく楽しかったです。
この会に参加できて、よい思い出ができました。ありがとうございました。
岩根 菜々美（中三）

私は、今回の演奏会で多くのことを学び、貴重な経験をすることができました。幅広い年代の人達との演奏では、今までにない感覚を味わうことができ、私はこの演奏会に参加できてよかったと思いました。また、私たちの演奏を多くの方々に聴いて頂けて嬉しかったです。
今回私たちにご指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。
伊藤 花蓮（高一）

私は高校の箏曲部に入っているので、いつもは同じくらいの年齢の人達と演奏しています。今回の演奏では、色々な学年の子供達と合奏して、とても楽しかったです。
演奏家の先生方の演奏も聴けて、とても勉強になった一日でした。
前田 佳数葉（高三）

箏組歌「花の宴」

「越後獅子」

「一杯」

© 2023 Tamiyoshi Saino　＜P6-P9に掲載されている写真は全て、斉野民好氏 撮影によるものです。＞

「春の海 幻想」

「第一四〇回 定期演奏会を終えて」

去る五月二十八日に開催の第一四〇回定期演奏会は無事成功裏に幕を閉じる事が出来ました。これも当道音楽会の為ならば、と遠方より駆けつけて下さいました人間国宝 富山清琴先生を始め客演の諸先生方、またご協力頂いた会員の皆様、運営関係者の皆様、そして当日ご来場下さった皆様のお陰と厚く御礼申し上げます。
不開催回を経て四年ぶりの演奏会、緊張は集中力となり、すべての曲に当道会会員の結束を強く感じました。また、邦楽普及事業としての一般公募に集った四歳から高校三年生まで十八人が一生懸命練習を重ねそれぞれの役割を果たし、大舞台に臆することなく見事な「さくらさくら」の演奏を披露され、邦楽の未来に明るい光を見出すことが出来ました。この演奏会が当道音楽会の今後の更なる発展の契機となる様、工夫と努力を重ねて活動を続けて参りたいと存じます。
ありがとうございました。
第一四〇回定期演奏会
実行委員長　菊田 二美歌

選考合格者一覧

自 令和四年七月
至 令和五年四月

◆箏少授導（二名）
水島 くるみ（菊畑和江）
藏合 恵子（菊畑和江）

◆少授導（四名）
船津 翠香（船津雪香）
菊福 華頂（菊領令華）
石原 有紀奈（菊正多紀子）
真木 瑞青（菊華春瑞）

◆中授導（四名）
菊紫峰 和己（菊紫江 こずえ）
菊梢 みさき（安江 菊扶路）
菊寿加 きよみ（安江 菊扶路）
菊霞紫 雪乃（菊末 霞桜糸）

◆中勾当（二名）
菊詩貴 靖子（菊津貴 和子）
菊壽貴 桜子（菊津貴 和子）

◆大勾当（二名）
菊英 裕子（安江 菊扶路）
菊井寿 令世（菊領 令華）

◎令和四年七月合格者の皆様
大変お待たせしました！

■当道音楽会ホームページ
スマホなどでQRコードを読み込んでください。
＜QRコード＞

令和５年度上期職格試験問題（各職格共通）

令和5年6月4日施行

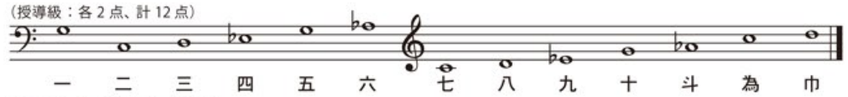
第一問（別紙解答欄に記入）

下記の各問に答えなさい。

① 第五絃が双調となっている「六段の調」の箏、低調子を各絃毎、五線譜上に全音符で記しなさい。
② 箏曲の分類上、「調べ物」とも言われる「六段の調」の種別は何か、答えなさい。
③ 箏の左手の手法の一つで、絃の音高を下げる手法を何というか、またその記譜法（家庭譜式）を記しなさい。
④ 箏の左手の手法の一つで、絃の音高を上げる手法を何というか、またその記譜法（家庭譜式）を記しなさい。

解答①

（授導級：各２点、計 12 点）

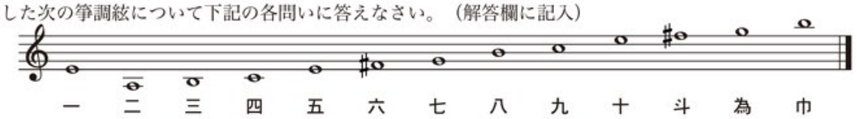


（授導級：②２点、③④３点、計８点）

解　答　欄			
問題No.	②　　段物	③　ヒキイロ　ヒ	④ 押手（押）（半音上げる記号で）ヲ

第二問

五線譜で示した次の箏調絃について下記の各問いに答えなさい。（解答欄に記入）



① 三の絃の音名を日本の十二律名で（漢字記入）答えなさい。また、六の絃の音名を洋楽の英語音名で答えなさい。
② 二の絃の音名を三絃の現行音名（漢数字）で答えなさい。また、四の絃の音名を都山流尺八（標準管）の音名で答えなさい。
③ 二と六、三と六、四と六、それぞれの絃と絃の間の音程を答えなさい。
④ 三の絃の音を三分損一して得られる音㋐を、またその㋐の音を三分益一して得られる音㋑を日本の十二律名で答えなさい。
また、四の絃の音を順八して得られる音㋒を、またその㋒の音を逆六して得られる音㋓を日本の十二律名で答えなさい。
⑤ 上記五線譜で示した箏調絃は日本の何音階に拠る何調子か。またその宮音（主音）は箏の第何絃か答えなさい。
⑥ 上記五線譜で示した箏調絃から平調子に調子替え（転調）した場合の、六および七の各絃の十二律名を答えなさい。
⑦ 上記五線譜で示した箏調絃に合奏する三絃の二上り調子の場合、その五のツボおよび５のツボは何の音となるか、三味線の現行音名（漢数字）で答えなさい。
⑧ 上記五線譜で示した箏調絃に合奏する三絃の三下り調子の場合、その什のツボおよび６のツボは何の音となるか、十二律名で答えなさい。

（授導級：各問２点、計 40 点）

問題No.	解　答　欄			
①	三　盤渉	六　F♯		
②	二　一本	四　ハ		
③	二と六　長６度	三と六　完全５度	四と六　増４度	
④	㋐　下無	㋑　上無	㋒　双調	㋓　壱越
⑤	都節　音階	中空　調子	第三絃	
⑥	六　勝絶	七　黄鐘		
⑦	五のツボ　三本	5のツボ　八本		
⑧	什のツボ　勝絶	6のツボ　鸞鏡		

第三問（解答欄に記入）

第Ｉ絃が六本の三下り調子の三絃、およびこれに合奏する雲井調子の箏について、解答欄の各問に相当する音名を十二律名で答えなさい。

（授導級：各問２点、計 10 点）

1 三絃の𝄞（開放絃）壱越	2 三絃の9のツボ　鸞鏡	3 箏の三　鳧鐘	4 箏の𝄞（強押し）勝絶	5 箏の巾　黄鐘

第四問（解答欄に記入）

一の絃を一尺八寸管尺八の「ツ」にとった箏の中空調子、二・四・七の各絃の音名を日本の十二律名で記しなさい（漢字記入）。
またこれに合奏する三絃の二上り調子について、五・９の各ツボの音名を三絃の現行音名で記しなさい。

（授導級：各問２点、計 10 点）

二　鸞鏡	四　上無	七　鳧鐘	五のツボ　四本	9のツボ　二本

第五問（解答欄に記入）

一の絃を一尺六寸管尺八の「ハ」にとった箏の楽調子について、これに合奏する箏の乃木調子、五・六・七の各絃の音名を尺八音名（都山流標準管）で答えなさい。またこの乃木調子は日本の何音階に拠る調子で、その宮音（主音）は箏の第何絃か答えなさい。

（授導級：各問２点、計 10 点）

五　レ	六　チ	七　ハ	律の音階	第 五 絃

第六問（解答欄に記入）

録音された音を聴き、その調子名を書きなさい。

（授導級：各問２点、計 10 点）

1　中空調子	2　乃木調子	3　雲井調子	4　二上り（調子）	5　三下り（調子）

令和5年度（2023年）事業計画

令和5年（2023年）4月1日から令和6年（2024年）3月31日まで

月　日	曜日	時　間	項　　目	会　　場	内　　容（備　　考）
令和5年（2023年）					
4月 9日	(日)	12:00	職格選考試験	本　部	
4月26日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
5月10日	(水)	11:00	理事会	本　部	
5月14日	(日)	11:30	受験の為の楽理講習会	本　部	講師 熊澤 辰巳 師
5月28日	(日)	12:30	第140回定期演奏会	国立文楽劇場	
5月31日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
6月 4日	(日)	8:30	上期職格試験	本　部	
6月11日	(日)	8:30	上期職格試験	本　部	
6月18日	(日)	11:00	職格辞令授与式	本　部	
6月21日	(水)	10:00	参与会（10時～11時）	大阪国際交流センター	（3F 会議室 3・4）
〃	〃	11:15	支部長会（11時15分～12時45分）	大阪国際交流センター	（3F 会議室 3・4）
〃	〃	14:00	総　　会（14時～15時半）	大阪国際交流センター	（3F 会議室 3・4）
7月 9日	(日)	10:00	オンライン地方選考	本部・地方	
7月12日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
7月23日	(日)	13:00	古典曲講習会	本　部	講師 菊領 令華 師
8月 6日	(日)	10:30	作曲者講習会	玉水記念館	講師 小田 誠 師
8月 9日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
8月13日	(日)	12:00	職格選考	本　部	
9月 6日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
9月10日	(日)	10:00	オンライン地方選考	本部・地方	
9月20日	(水)	11:00	理事会	本　部	
10月 8日	(日)	12:00	職格選考	本　部	
10月11日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
11月 5日	(日)	11:30	受験の為の楽理講習会	本　部	講師 熊澤 辰巳 師
11月 8日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
11月12日	(日)	10:00	オンライン地方選考	本部・地方	
11月19日	(日)	13:00	組歌講習会	本　部	講師 菊多嘉 弘子 師
12月 3日	(日)	8:30	下期職格検定試験	本　部	
12月10日	(日)	8:30	下期職格検定試験	本　部	
12月13日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
12月17日	(日)	11:00	職格辞令授与式	本　部	
令和6年（2024年）					
1月17日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
2月 4日	(日)	13:00	古典曲講習会	本　部	講師 菊原 光治 師
2月11日	(日)	12:00	職格選考	本　部	
2月14日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
3月 6日	(水)	11:00	常務会	本　部	理事長・副理事長・各常務理事
3月10日	(日)	10:00	オンライン地方選考	本部・地方	
3月27日	(水)	11:00	理事会	本　部	

※ 奇数月第二日曜に地方選考・地方選考オンライン(本部)を開催。
※ 毎月第一、第三土曜日に、邦楽普及を目的とした「うえまち台 和音塾」を本部で開催。
※ 上記は計画につき変更となる場合があります。